

展示室 1d 美を纏う 朝長染織コレクションを中心に (後期展示)

2025年5月1日(木)から7月13日(日)

後期：6月17日(火) - 7月13日(日)

◎印は通期展示

■印は通期展示、個人蔵

美を纏う - 美しいものを愛で、身に纏うことは誰もが憧れることではないでしょうか。

2020年、着物愛好家である朝長義子氏より鎌倉芳太郎、志村ふくみ、土屋順紀などの染織作家作品をご寄贈いただきました。

四季折々の豊かな自然の中から、あるいは物語の中から紡ぎ出された工芸作品を朝長コレクションを中心にをご紹介します。

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法、素材
いわた とうしち 岩田 藤七	1893-1980		貝	1976	そらふ 宙吹き、色ガラス
あらかわとよぞう 荒川 豊藏	1894-1985	◎	そめつげりゆうすいずちょうかくざら 染付流水図長角皿	1971頃	染付、磁器
かがみ こうぞう 各務 鑛三	1896-1985		かざりざら めいの 飾皿 銘祈り	1929	グラヴェール クリスタルガラス
			瓜文皿	1937-38頃	グラヴェール、被せガラス クリスタルガラス
かまくら よしたろう 鎌倉 芳太郎	1898-1983		かたえ だんぞめさんすいもんきもの 型絵段染山水文着物	1975以降	型絵染、絹
つかもととかいじ 塚本 快示	1912-1990	◎	はくじちようこくもんおおざら 白瓷鳥刻文大皿	1978	白瓷、磁器
むねひろ りきぞう 宗廣 力三	1914-1989		あかちやじはなおりきもの 赤茶地花織着物	1970	花織、紬、絹
			あいじむぎもんようかすりきもの 藍地麦文様絋着物	1977	絋、紬、絹
		◎	しょきぐじょうつむぎきれじ 初期郡上紬裂地	昭和初期	絋、紬、絹
かとう たくお 加藤 卓男	1917-2005	◎	さんさいか き めいそうよう 三彩花器 銘爽容	1990	三彩、陶器
すずき おさむ 鈴木 藏	1934-	■	しのこうろ 志野香炉	2020	志野、陶器
きたむらたけし 北村 武資	1935-2022		じょうだいらおび 上代羅帯	不詳	羅、絹
かとう こうぞう 加藤 孝造	1935-2023	◎	しのとうぼこ 志野陶篋	1980	志野、陶器
		◎	せとくろ ちやわん 瀬戸黒茶碗	2017	瀬戸黒、陶器
よしだ よしひこ 吉田 喜彦	1936 -	■	しのふたもの 志野蓋物	1994	志野、陶器
とよば せいや 豊場 惺也	1942-	◎	きせ とはないけ 黄瀬戸花生	不詳	黄瀬戸、陶器
くじょうつむぎ むねひろようすけ 郡上紬 (宗廣陽助)	1942-		しろちやじしま かすりきもの 白茶地縞やたら絋着物	1980-2000	紬、絋、絹
つちや よしのり 土屋 順紀	1954-		つむぎきもの ゆ や 紬着物「熊野」	1984	紬、絋、絹
		■	つむぎきれじ つばき 紬裂地「椿」	1991	紬、絋、絹
		■	つむぎきれじ あつもり 紬裂地「敦盛」	1992	紬、絋、絹
		■	つむぎきれじ しか ね 紬裂地「鹿の音」	1992	紬、絋、絹
		■	つむぎきれじ つる は 紬裂地「鶴の羽」	1992	紬、絋、絹
		■	すずし きれじ すいげつ 生絹裂地「水月」	1995	絋、絹
		■	すずしきれじ あゆ せ 生絹裂地「鮎の瀬」	1996	絋、絹
		■	つむぎきれじ すいろ 紬裂地「翠露」	1997	紬、絋、絹
			すずし きもの さいひょう 生絹着物「細氷」	1997	絋、絹
			しゃきじやく ささ がわ 紗着尺「細ら川」	1998	紗、絹
			もんしやきもの みょうおん 紋紗着物「妙音」	2010	紗、絋、絹
		ろ おびじ とうげつ 紹帯地「冬月」	2011	紹、絋、絹	
	■	もんしやきれじ しゅうしょう 紋紗裂地「秋粧」	2011	紋紗、絋、絹	
あずままさゆき 東 正之	1960-		せいゆうつぼ 青釉壺	2014	青釉、陶器
たなべ ちくうんさいしょうちく 四代 田辺 竹雲斎(小竹)	1973-	◎	つながり一現在心・過去心・未来心	2013	くろちく またけ 黒竹、真竹